



君の未来を 考えるセミナー



「新しい職業」を知り将来の選択肢を広げる

東進で憧れの志望校合格を果たした多くの先輩たちの共通項——それは、将来について考え、漠然とした自分の夢を「志」へと高めていたことです。自分や社会の未来を考えながら、「将来こんなことを成し遂げたい」という具体的な将来像を持つことで、そこから「こんなことを学びたい」「この大学 / 学部に行きたい」という気持ちが高まり、努力を続ける原動力となります。

君の未来を考えるセミナーは、デジタル時代を

生きていく中で今までになかった価値を生み出している先生の特別講義。デジタル技術進歩を担う仕事、進化する技術を駆使して世界を豊かにする仕事、デジタル技術の発展で新たに生まれる課題を解決する仕事……。新分野を切り拓く先生方の知見に触れ、「自分の生きる未来はどうなるか?」「将来どうありたいのか?」、そして「何のために勉強するのか?」、そんな疑問の答えを見つけに行きましょう!

第25回

その“寄り道”が、 君の未来を「最先端」へと導く

株式会社フレクト
クラウドインテグレーション事業部 チームマネージャー

まつい としき
松井 俊貴 先生

実施
概要

対 象 ▶ 高3生・高2生・高1生・高0生*とそのご父母
受講料 ▶ 無料招待
受講方法 ▶ Zoomにてオンラインリアルタイム開催

皆さんからの質問にもお答えします!!

東進生の
お申し込みは
こちら



参加者の声

職業をはじめいろいろな変化が起きることをとても大変そうだと感じていたが、今回のセミナーを受講して前向きに思えた。

Q 東京都 高2生

先生自身の経験からやりたいことを形にしようと行動を起こす過程までが具体的にわかり、自分の将来を考えるうえで参考になりました。

Q 神奈川県 高1生

エンジニア=数学や理科に特化ではなく、順序立てて思考するうえで全ての科目が必要ということを知りました。

Q 奈良県 高3生

数学なんて役に立たないと娘から言われることも多いのですが、きちんと理論的に返答できなかったところをご説明頂き説得力がありました。

Q 東京都 高2生の保護者

目的や意義を明確にすることで、やるべき手段が見えてくる事を学んだ。

Q 神奈川県 高1生

セミナーで先生のお話を聞いて、少しでも興味を持ったことには失敗を恐れずに挑戦してみようと思うようになりました。

Q 群馬県 高1生

※高0生：高校生レベルの学力を持った中学生

東進ハイスクール 東進衛星予備校

その“寄り道”が、 君の未来を 「最先端」へと導く

11.26 水 19:30 21:00

生命科学専攻→IT 企業、
入社3年でマネージャー！？
その進路、どこで決まった？

先生からのメッセージ

浦和高校から東大理一、東大大学院を経て IT 企業で活躍する入社3年目の私が、自身のキャリアを振り返りながら皆さんと「キャリアを考える」ヒントを探ります。

高校時代、スマホに夢中になり成績が急降下、浪人して初めて本気で勉強と向き合った私。しかしその経験が、物理学の奥深さに目覚め、東京大学で生物物理学という学問の「衝撃」と出会うきっかけになりました。一見、暗記科目に見える生命科学が、物理の計算で説明できるその面白さたるや。研究分野でプログラミングに触れたことで、IT 企業へのキャリアパスが開かれました。就職活動では「プログラミングでお客様の課題解決がしたい」「エンジニアとしての価値を高めたい」と考え、株式会社フレクトへ入社。1年目から大手企業の DX 支援プロジェクトのプロジェクトマネージャーを経験し、2年目にはプロジェクトをリード、そして3年目でチームマネージャーに就任と、目まぐるしい日々を送っています。

学業での挫折と飛躍、専門分野から IT へのキャリアチェンジの背景、そして社会に出てからの成長とやりがいについてお話しします。

「寄り道してもいい」「目の前の学びを楽しんでほしい」「人生は勉強」

——自身の経験談をもとに、皆さんが「キャリアを考える」上での気づきになれば幸いです。

講義後は、皆さんからの質問にも答えていきます。

株式会社フレクト
クラウドインテグレーション事業部
チームマネージャー

まつい としき

松井 俊貴 先生

埼玉県立浦和高等学校卒業後、東京大学理科一類へ進学し、生命科学を専攻。東京大学大学院修士課程を修了。数学や物理に力を注いだ大学・大学院時代を経て、株式会社フレクトへ新卒で入社。専門分野とは異なる IT 業界でキャリアをスタートさせ、大手文具メーカーや大型国際イベント等、数々のプロジェクトを経験。入社わずか2年でチームマネージャーに抜擢され、現在も若手ながら、自律型 AI など次世代の AI エージェント技術を用いた新サービス開発を牽引。



FLECT

